

市会における議論要旨

代表質問（平成25年3月6日）

- 新会社への移行にあたって、勤怠不良職員の取扱いをどうするのか。
- 民間化にあたって、サービス水準は確保されるのか。
ごみ減量が進まないのではないか。災害時の対応はどうするのか。

民生保健委員会質疑（平成25年3月12日～15日）

- 「方針（素案）」に係る検討の経過、コスト削減効果などについて
- 災害時の対応や事業者のストライキなどのリスクマネジメントは非常に重要であるので、十分に検討してほしい。
- 随意契約期間中のコスト分析や新会社での給与水準については、事業者が新会社設立に参入するかどうかに関わる部分であるので、しっかり検討を進めてほしい。
- マーケット・サウンディングの検討経過などについて
- マーケット・サウンディング結果取りまとめから「方針（素案）」の策定までが1カ月しかなく、もっと時間をかけて検討すべき。
随意契約期間について、10～15年は必要ではないか。
- 普及啓発や規制指導などは行政で実施すべきではないか。
各戸収集やふれあい収集などのサービス水準の維持ができるのか。
全市一斉の民間化ではなく地域ごとなどで試行実施すべきではないか。

※上記「●」は質疑、「○」は要望を示す。

《民生保健委員会 附帯決議》

ごみ収集輸送事業、ごみ焼却処理事業の経営形態の移行については、市民に対する影響が大きいことを鑑み、市民生活に支障が生じないよう最善の措置を講じること